

科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日	科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日
世界経済事情 I	<春>		ECON1430	月1					

【教員氏名】

モグベル ザファル

【単位数】

2 単位

【授業形態】

『講義』

【講義・演習概要】

この講義の主なテーマは経済発展と貧困です。世界経済でいま何が起きているのか、また、経済の現状を見つめるとき、世界の国々とその国民はなに期待を掛け、何を脅威と受け止めているのか。「世界経済事情 I」では、このような視点に立って経済発展と貧困の問題に焦点を当てた「世界経済入門」の講義を行い、これらの分野に関連するトピックスを取り上げて分かりやすく説明します。できるだけタイムリーな、そして受講生が関心を持てるようなトピックスを選ぶことを目指します。なお、トピックスの内容や順序は、世界情勢の展開により変わることがあります。

【学習（到達）目標】

世界経済の仕組みと今日のトピックスについて分かりやすく解説することがこの講義の趣旨です。受講生は、新聞の国際経済記事を興味をもって読み、自分なりの理解と意見を持つことができるようになります。さらに、受講生は、「極度の貧困」を中心に開発途上国が直面する諸問題について理解を深め、自分の考えを述べるできるようになります。

【講義・演習計画】

- 第1回：世界経済展望
- 第2回：「ヒト・モノ・カネ」の国際移動とその分類
- 第3回：先進国・中進国・途上国とその他の分類
- 第4回：世界銀行の「所得番付」に見る各国経済のランキング
- 第5回：様々な視点から見た世界の中の日本のランキング
- 第6回：世界経済の中の日本の位置
- 第7回：開発途上国と貧困の問題
- 第8回：国連「ミレニアム開発目標（2000-2015年）」の評価
- 第9回：国連「持続可能な開発目標（2015-2030年）」の目指すもの
- 第10回：国連「持続可能な開発目標（2015-2030年）」：持続可能な開発のための2030年アジェンダの17の目標
- 第11回：貧困撲滅を目指して：グラミン運動
- 第12回：経済援助の歴史と現状：途上国の視点
- 第13回：経済援助の歴史と現状：先進国の視点
- 第14回：日本のODA（政府開発援助）の現状と課題
- 第15回：まとめ：貧困と世界経済の未来象

【成績評価の方法】

試験評価：90% その他：10%

- ① 学期末試験において、国際収支論、日本の貿易構造、経済グローバル化などの達成目標に対応するテーマに関する選択式問題と論述問題を出願します。答案の正解率と論述問題に対して論理的に述べているかに重点をおいて評価します。
- ② 授業への積極的な参加について評価します。具体的には、授業中に行う2～3回の練習問題の結果で評価します。

【参考文献】

テキストの代わりに、ほとんど毎回資料を配布するので、配布資料の責任ある管理を各人に期待する。

【事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 事後学習 30 時間）】

- 1. 経済学の基礎を復習しておくこと。
- 2. 配布資料を正しく管理し、その内容について予習・復習を行うこと。
- 3. 新聞の、国際経済関連の記事を継続的に読み、世界経済の現状をできるだけリアルタイムで追うこと。